



海外の自治体と教育交流協定を結び、 教育委員会が主催して行うケースも

広島県教育委員会

お互いの生徒の現地滞在費を負担 安価な短期海外留学プログラムを実現

海外留学費用として大きなシェアを占めるのが「滞在費」「渡航費」、そして「人件費」。滞在先をホームステイにしたり、格安航空(LCC)を用いる事例も出始めている。

広島県教育委員会では、渡航先の自治体と協定を結ぶことで、お互いの生徒の現地滞在時の費用を負担しあったり、引率を県教委で行なうことや、日本から渡航先の引率を行わない(現地ガイドはあり)ことで人件費を削減。

ホームステイはコストの削減という意味合いだけでなく、生徒の学びの機会を広げることにつながり、県教委が主催、同行することも、申し込む生徒や保護者にとっても大きな安心につながっているようだ。

短期留学プログラムの概要

ねらい	英語での異文化交流や学習を通じて、国際的な感覚や視野を広げ、グローバルな社会で活躍できる人材を育成する
訪問先	台湾
対象/定員	1・2・3年生/15名(応募は79名)
時期/期間	8月/5泊6日
主なプログラム	英語サマーキャンプ、現地学校授業参加、演劇練習、ホームステイ
事前学習	地元のこと、自分の思い、家族や友達のことなど様々なことを「プレゼン」する準備。参加者同士の事前交流。
事後学習	設定無し
生徒負担費用	約5万円

文部科学省 官民協働海外留学創出プロジェクト

「トビタテ！留学JAPAN」

のホームページでは、

各都道府県・自治体の取り組む留学支援の情報や、

高校の取り組み事例の追加・更新を行っております。ぜひ参考にご覧ください。



<https://tobitate-mext.jasso.go.jp/>

